

ペガサス大阪南看護専門学校(仮称)開設準備進行中

TOPICS
3 大阪府の開校に関する調査が終了大阪府の実地調査、推薦入試など、
看護学生を迎える準備が着実に進行中。

令和2年10月29日に、大阪府健康医療部による、ペガサス大阪南看護学校(仮称)の開校に関する実地調査が行われました。馬場武彦学校長、田中恭子副学校長をはじめ学校職員が出席し、実習施設からは、大阪南医療センター、馬場記念病院、ペガサスリハビリテーション病院、特養エクウス、老健アリオン、ペガサス第2保育園・訪問看護ステーションなど、各看護実習施設の看護部長・管



理部長・施設長等代表者等が出席しました。

馬場学校長は、学校設置の目的・意義と、チーム医療で必要となるコミュニケーション能力の育成の重要性について語られるとともに、まずは人として立派な人物を育て、ペガサス組織の中で中核となる地域医療に貢献できる人材を育成したいという決意を伝えました。施設内の設備や授業の計画案などに対する書類審査やヒアリングも行われ、多くの関係者の方々のご協力のおかげで、無事に実地調査を終えることができました。

また、11月1日には指定校推薦入試が実施されました。はつらつと希望に満ちた多くの高校生が受験に臨んでくれました。面接では本校受験や看護職をめざす動機、将来像などを熱く語ってくれました。11月20日には一般入試の出願が開始され、12月6日からは1回目の一般入学試験もスタートします。職員・関係者一同、新入生の熱意に応えられるよう開校への想いを新たにしています。

LINEで、看護学校からのお知らせや最新情報を配信中です。
是非、友だち登録してくださいね!
ID検索 @855ghllg

ペガサス健診センターの
ご案内

ペガサス健診センターは、最新鋭の医療機器を使用し、適切な診断を提供しています。
一般健診・企業健診、人間ドックなど、多彩なメニューからお選びいただけます。
お問い合わせ/072-265-6006



ペガサス地域包括ケアセンター

場所：馬場記念病院 総合案内横
時間：平日9時30分～12時まで
健康のことから在宅介護まで。多様なニーズに対応する「なんでも相談」窓口を設置しています。まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ/TEL:072-265-5558 (担当 齋藤)

「なんでも相談」
窓口あります

ペガサスグループ
株式会社ユニコ

取り扱う紙おむつは150種類以上。大幅な値下げも実施中です。



●お問い合わせ
TEL:0120-062-505

私たちと一緒に働きましょう。

随時受付
しています

介護職員募集中! 正職員採用

いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

障がいをお持ちの方、一緒に働きませんか

※障がい者手帳をお持ちの方。正職員への雇用変更もあり業務は、A)書類の印刷、製本 B)洗濯 C)清掃 D)データ入力 E)資料作成等。

お問い合わせ/馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089

社会医療法人ペガサス公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

ペガサスマンモサnder

開催予定

【開催日】(予定)
12/13(日)、1/10(日)

【開催時間】
9時～17時

【お問い合わせ】
TEL:072-265-6006
(ペガサス健診センター)

PEGASUS
NEWS

ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/令和2年12月1日

Vol.94

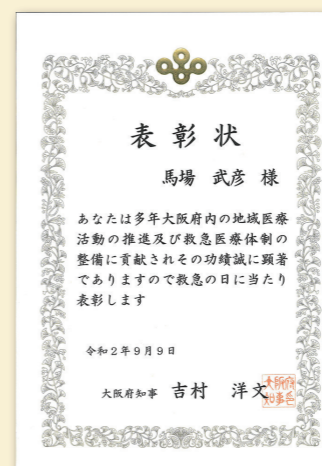
ペガサスから地域の皆さまへ

馬場記念病院の救急医療が認められ、
「大阪府知事表彰」を受賞しました。

令和2年9月9日、馬場記念病院院長の馬場武彦(社会医療法人ペガサス理事長)が令和2年度救急医療功労者(個人・医療関係)部門にて、「大阪府知事表彰」を受賞いたしました。今回は、平成27年に続き2度目の受賞で、平成19年には馬場記念病院が、救急医療功労者団体部門で「大阪府知事表彰」を受けています。

●24時間365日の努力が結実

馬場記念病院は地域の医療を支える中核病院として、古くから「救急の馬場記念病院」と地域の方々から認められてきたと自負しています。これは地域の皆さまの期待にお応えするため「断らない救急医療」をめざし、全職員が一丸となって日々努力してきた成果だと思えます。近年も、内科・外科・脳神経外科・整形外科・循環器科の5診療科において、年間約6000件の救急依頼を受け入れ、緊急手術などの治療に当たって



ます。今回の表彰は、24時間365日5診療科の当直体制を守り抜き、地域医療を支えてきた馬場記念病院ならびに法人全職員の努力が認められたことに対して表彰していただいたと考えています。

●二次救急を支える民間病院への評価

大阪府の救急医療は、二次救急病院と三次救急病院が役割分担をして機能する全国的にも珍しい大阪独自の仕組みが確立しています。特に、二次救急の80%以上を民間病院が担っているのが現状を鑑みますと、今回の表彰は、大阪府の救急医療に尽力しているすべての民間病院の努力が、公的に評価を受けたものであると大きな喜びを感じています。

また、今年新型コロナウイルスの流行を受けて、全国の医療機関が感染拡大防止に鋭意努力を続けています。大阪府下では、コロナ対応を主として担う病院と、一般の救急医療を支える病院が役割分担をして任務に当たっています。第3波襲来といわれていますが、今回いただいた表彰も励みとし、今後も法人全職員、そして地域の医療機関の皆さまとともに地域医療を守ること全力を注いでいきたいと考えています。



院内研修会

新型コロナウイルス感染対策強化のために BMHカンファレンスを開催しました。

呼吸器科・高村部長が講演「SARS-Co2 pandemic進行中～歴史の教訓を次世代に～」

令和2年8月28日にBMHカンファレンスを開催しました。コロナウイルスから病院・地域を守るための知識・意識を更に高めようと呼吸器科の高村竜一郎部長が「SARS-Co2 pandemic進行中～歴史の教訓を次世代に～」と題し講演を行いました。コロナウイルスの発生を知らせ、自らも感染して亡くなった中国人医師、ダイヤモンドプリンセス号で診療に当たった医療従事者等を讃え、講演が始まり、2002年のSARS（重症急性呼吸器症候群）での学びを、コロナウイルスのパンデミック防止にどう活かすかという話がありました。最後は、



CT画像によるコロナウイルス感染の診断について質疑、意見交換がなされ、職員の高い問題意識が感じられました。

第63回 馬場記念病院勉強会のご案内

日時：令和2年 12月23日(水) 14:00～16:00
場所：馬場記念病院 南館2階 会議室

「当院で気管支鏡により診断、治療が有効であった症例」
呼吸器科 高坂明子

「地域連携バスの運用実績報告」
リハビリテーション科 副院長 西尾俊嗣

「尿酸の不思議と糖尿病との接点」
糖尿病科 部長 嶺尾郁夫

「炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)における診療」
消化器科 鏑谷成弘

※ハイブリッド開催ですので、会場、オンラインどちらでもご参加いただけます。

馬場記念病院 地域医療支援室 072-265-9083

BMHカンファレンスとは

Baba Memorial Hospital Conferenceの略。診療部門と検査部門で定期的に情報共有を図り診療に役立てようという集まりが始まり。近年では、研修医の症例報告や骨髄ドナーを経験した職員の報告など、さまざまな職員の知見・経験を共有して診療に役立てる取り組みとなっている。参加対象は地域医療機関の先生方、院内職員。

メンター懇親会

メンター懇親会をオンライン開催。

コロナ禍ならではの工夫でメンター懇親会が実現。
WEB会議システムは、じっくりと話ができると好評!

ペガサスグループでは、新入職員を支援するためにペガサスマンナー制度を導入しています。5～6人の新入職者に先輩職員(メンター)がつき、仕事や人間関係などに関する相談ができるシステムです。職種に関係なくグループを作るため、他職種との関わりを持つことで広い視野が育まれます。

毎年、入職後の週末に浜寺公園でバーベキューを開催し、新入職者と幹部職員・先輩職員との親交を深める機会を設けていました。またメンターごとのグループで食事をしたりして、悩みや不安に耳を傾けサポートしていました。昨年までは馬場理事長や田中理事をはじめ、



メンターを取りまとめている人材育成委員会のメンバーなども加わり、定期的に懇親会を行っていましたが、コロナウイルスの影響で今年は

開催が叶いませんでした。

しかし、コロナ禍であっても新入職員をしっかりとサポートしたいという思いから、今年はWEB会議システムを利用して懇親会を開催することとしました。密を避けるため1つの部屋に集まるのは4人までとし、仕出し弁当を準備、馬場理事長と田中理事もリモートで参加できるようにしました。会場が別れることでコミュニケーションが取れるだろうかと不安もありましたが、かえって一人ひとりの話をじっくり聞けたり、一つのテーマについて話し合うことができたこと、参加者からは好評でした。現在も感染状況を見ながら、メンターと新入職員との懇親会が継続的に行われています。

それ以外にも新入職員への支援の一環として、職員向けのYouTubeチャンネルを開設し、福利厚生の紹介、クラブ活動などの案内をしています。今後も、コロナ禍であってもさまざまな工夫で、新入職員が地域、患者さまに寄り添える人材として成長していけるよう努めていきます。



TOPICS 1 ペガサスグループ ペガサスロイヤルコンテスト開催

YouTubeでの作品公開にWeb投票!
投票数は例年の2倍に増加!

ペガサスグループでは、社会医療法人ペガサスや社会福祉法人風の馬の各施設の患者さまや利用者さま、地域の方々から作品を募集して(ペガサスロイヤルコンテスト)という作品展を開催しています。この作品展は、患者さま方がリハビリテーションの一環などで作成した絵画や、切り絵などを発表したいという職員の声から始まったイベントです。地域の方々からも作品募集し参加いただくことで、ペガサスグループの施設を地域の方々にご覧いただくことや地域交流にも繋がる有意義なイベントです。例年は、ペガサスロイヤルリゾート(サービス付き高齢者向け住宅)の「秋祭り」の一環として開催され、来場者の方々にご覧いただき投票していただいていたこと、

今年の秋祭りはコロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、患者さま方のためにもコンテストを開催したいという職員たちの思いから、形を変えて開催できたことは大変嬉しいことでした。今回はペガサスロイヤルリゾート、ペガサスロイヤルリゾート石津で作品を展示するとともに、YouTubeでも作品を紹介し、WEB投票できるようにしました。また、グループ内施設の14箇所に作品写真と投票箱を設置し、より多くの方々に作品を見ていただき投票いただけるようにしました。その結果、101点の応募作品に対し、例年の倍、約300票の投票をいただきました。そして10

月21日、素晴らしい作品の中から選ばれた、金賞1点、銀賞10点、銅賞30点の表彰式を行いました。全応募作品、表彰式の模様は、ペガサスグループのFacebookページで公開しています。ぜひご覧ください。



社会医療法人ペガサス
Facebook ページ
<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

TOPICS 2 社会医療法人ペガサス 自転車通勤を推進する宣言企業に認定

職員の健康維持・増進、環境負荷低減に
貢献しようとの取り組みが評価されました。

社会医療法人ペガサスは、今年8月、国土交通省より(自転車通勤を推進する宣言企業)の認定を受けました。この認定制度は、自転車通勤が、環境負荷の低減・交通渋滞の緩和、職員の健康維持増進に繋がることから、企業における自転車通勤推進を支援していこうと始まった制度です。そして令和2年8月27日に初回「宣言企業」として、24社・団体が認定されました。ペガサスでは、認定要件である「従業員用駐輪場の確保」「交通安全教育を年1回実施」「自転車損害賠償責任保険等への加入の義務化」も



クリアしており、今回の「宣言企業」認定に繋がりました。私たちは、今回の認定を受けるために自転車通勤推進を始めたわけではなく、以前より職員の健康維持・増進、交通渋滞の緩和などへの問題意識から、自転車通勤を推奨してきました。現在、多くの職員が自宅や最寄駅から自転車で通勤しています。職員が健康で、元気に働き続けて欲しいという思いや地域や環境への影響を考えて、普段から取り組んでいたことを、このような形で評価いただけたことをとても嬉しく思っています。この認定制度には「宣言企業」よりも上位の「優良企業」があります。自転車通勤者が100名以上、または全従業員の2割以上を占めるなどの認定要件があります。こちらの認定発表は、令和3年の2月頃に予定されています。改めてご報告させていただきます。